

デング熱国内感染例の発生に伴うモニタリング調査の実施について

平成 26 年 8 月に、都立代々木公園でデング熱に感染したと思われる南区在住の方が、発症 3 日後に金沢区内の海の公園内「犬の遊び場」で蚊に刺されていたことがわかりました。この方を刺した蚊が、デング熱を感染させる力を保有するかが不明なため、本日から海の公園の蚊のモニタリング調査を実施します。この調査に伴って、海の公園の一部を閉鎖します。なお、横浜市が今年度を実施した、蚊のモニタリング調査では、約 2700 個体の雌のヒトスジシマカ（ヤブ蚊）を検査しましたが、デングウイルスは検出されておりません。

1 モニタリング方法

ライトトラップ法（二酸化炭素による誘因）を用いて蚊を捕獲し、種の特定制及びデングウイルスの保有の有無を確認します。また、調査時期は吸血蚊の体内でウイルスが増殖し、感染性を有するようになる、吸血日（8 月 31 日）から 1 週間後（9 月 7 日）の前後の日に実施します。

実施期間：9 月 5 日（金）から

2 閉鎖する場所

横浜市金沢区海の公園 10 番 海の公園内犬の遊び場の二か所（金沢シーサイドライン架線下「海の公園南口駅」の両側に一か所ずつ所在）閉鎖は本日から行っていますが、8 月 31 日以降本日までに閉鎖場所周辺において蚊に刺されたとしても、感染の可能性はありません。

3 市民の皆さまへ

- ・日本国内で海外渡航歴のないデング熱の患者（国内感染）が複数発生していますが、いずれも都立代々木公園周辺の蚊による感染と推定され、横浜市内で蚊に刺されたことによる感染は確認されていません。
- ・海外の流行地域（主に熱帯・亜熱帯地域）に渡航される方は蚊に刺されないように注意することはもちろん、国内でも蚊に刺されないように注意することが大切です。
- ・ヤブ蚊に刺されて高熱が続いた場合には、蚊に刺されないように注意して、かかりつけの医療機関を受診してください。
- ・症状は、ヤブ蚊に刺されてから概ね 3 日から 7 日で、突然の発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹等が現れます。

4 デング熱について

デング熱は人から人に直接感染する病気ではありません。ウイルスに感染した患者を蚊が吸血すると蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他者を吸血することではじめて感染します。また、感染した場合も、一般に一週間前後の経過で回復すると言われています。

お問合せ先			
デング熱の症状に関すること	横浜市保健所健康安全課長	岩田 眞美	Tel 045-671-2442
蚊のモニタリングに関すること	横浜市保健所生活衛生課長	渡辺 昭嘉	Tel 045-671-3608
公園の維持管理に関すること	横浜市環境創造局公園緑地維持課長	山本 英	Tel 045-671-3431

（裏面有り）

※ 市民の方の、9月6日（土）及び7日（日）における相談窓口

【相談窓口】 9月6日（土）及び7日（日） 9：00～17：00

- 蚊のモニタリングに関すること
横浜市保健所生活衛生課生活衛生係 Tel 045-671-2469
- 犬の遊び場周辺で蚊に刺されたことで不安な方
金沢福祉保健センター福祉保健課健康づくり係 Tel 045-788-7840
- 公園の維持管理に関すること
横浜市環境創造局南部公園緑地事務所 Tel 045-831-8484